

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2021年 3月 24日

## 「2021年度郡山総合車両センター業務について」に関する申し入れ

3月24日に行い、要点は以下の通りです。詳細等は、地本業務部に連絡を下さい。

団体交渉①

(1項)「変革2027」及び「グループ安全計画2023」の方針に基づき、更なる安全・安定輸送の提供に努めていくために、2021年度で現場に現れる具体的取り組みを2020年度と比較して変化する点を明らかにすること。

(回答)「変革2027」及び「グループ安全計画2023」の方針に基づく郡山総合車両センターの具体的取り組みは、箇所において周知することとなる。

【主な議論】・技能向上や業務の見える化は今まで通り行い、変化する点についてはベトナム実習生の受け入れや東北DCやオリンピックもある。コストダウンは喫緊の課題となる。

・現在行っているトライアルは、2021年度中に整理がつけば本施行となる。問題解決後に本施行となる。

・コストを抑えるにも現場の技術力が必要であり、技術を磨く必要があることは、支社の認識としてもある。

(2項) 変革2027」及び「グループ安全計画2023」の方針に基づき、生産性を高めていかなければならないが、2020年度の実績は、どのような取り組みによってどの程度向上したのかを明らかにするとともに、2021年度は更にどの程度向上させていかなければならないのかを具体的数字で明らかにすること。

(回答)引き続き生産性向上に取り組んでいく考えである。

【主な議論】・CS、業務研究、マイプロ、すぐやる改善、は生産性の向上につながっていると支社として認識しているが、工程への反映まではいっていない。見える化による、見せ方は勉強していく。

・コストダウンの見極めは難しい。必要などころにはお金はかける。支社として郡山総合車両センターの経営幹部とは話をする。

(3項)グループ会社と一体となった水平分業の深度化のために一部業務を委託するとあるが、水平分業の達成度合いはどの程度となっているのかを明らかにするとともに今後の見通しを示すこと。また、郡山総合車両センターにおける「鉄道事業者としての業務」を明らかにすること。

(回答)引き続きグループ会社と一体となった効率的な業務執行体制を構築していく考えである。

なお、郡山総合車両センターは、今後も車両の検査修繕を通して安全・安定輸送を担うこととなる。

【主な議論】・水平分業については、深度化している。今後も突き詰める。どこまで委託できるか、出来る担保の問題になる。

・グループ会社がフィールド(現場)に直結した業務を出来る状態でなくなってしまうのではないかと、現場の声がある。支社からすれば委託先で考えるべき内容かもしれないが、支社としても意見交換など行い、必要な対応をするように求めました。

(4項)しゃ断器、真空接触器等の修繕作業に委託にあたっては、現時点における説明や教育スケジュールを明らかにすること。また、関連するJRTM社員にも変化する内容が周知されるようにすること。

(回答)部外委託に関する周知については、必要に応じて実施していく考えである。

【主な議論】・スケジュールについては、2~3か月前から教育を行っていく考えである。

・見極めも行い、マニュアル、作業標準の準備、教育、詳細については状況を見て行う。

・フロアの場所の取り合いにならないように、また、どこが委託かどうか、わからないようにならないように、求めました。